

				NPO法人 赤煉瓦倶楽部舞鶴 会報			
				発行人/理事長 馬場 英男			
				〒625-0036 舞鶴市浜 247 番地			
				(志摩機械三条ビル3階)			
				TEL/090-3281-7539 FAX/0773-63-9764			
				E-mail brick@iris.eonet.ne.jp			
特定非営利活動法人 赤煉瓦倶楽部舞鶴							
会報 88号 平成 26年 5月 1日							
「NPO法人赤煉瓦倶楽部舞鶴」ホームページ				http://www.redbrick.jp/			

目次

1 平成 26 年度視察・見学のお知らせと参加者募集	4 メグ・ヴァイヴァース女史の来日について 小野 章氏
2 連載『舞鶴の古民家 1』 執筆 日向 進氏	5 その他 26 年度通常総会のご案内 【欠欠ハガキ同封】
3 連載『我が国の近代化土木遺産 1』 執筆 こいけりか氏	編集後記

1. 平成 26 年度事業のお知らせと参加者募集	事務局
---------------------------------	------------

平成26年度の市内・外の視察・見学会を下記の通り実施する事を理事会で決定しましたので、お知らせします。

(1) 第3回市内赤煉瓦建造物見学会(募集中)

- ①日 時： 平成 26 年 5 月 11 日(日)午前 9 時 30 分～12 時 現地集合解散 (雨天中止)
- ②場 所： 舞鶴市与保呂 1584-1 舞鶴市与保呂浄水場閘連施設 事務所 TEL 0773-62-0898
国指定重要文化財 桂貯水池(M33)および岸谷貯水池(M38、T10)閘連施設 見学
- ③参加募集： 先着 20 名、参加費 500 円/人、申込期限 5 月 3 日(090-3281-7539 馬場まで)



桂貯水池堰堤



桂 量水堰堤



岸谷貯水池・取水塔



岸谷放水路

(2) 第4回市外近代化産業遺産視察会(予定) [詳細は、会報 89 号(8/1 発行)にて]

- ①日 時： 平成 26 年 8 月 30 日(日)日帰り 東駅→中舞鶴→西駅 8 時頃出発、東駅 21 時頃着予定
- ②場 所： 岡山市犬島 327-5 犬島アートプロジェクト「製錬所」
瀬戸内海に位置し、宝伝港より定期船で約 5 分(約 2.5km)で渡る。銅製錬所跡を活用したアートプロジェクトが進行中で、直島、豊島などと共に瀬戸内国際芸術祭トリエンナーレ開催地として国内外から注目されている。
- ③参加募集： 先着 20 名(予定)、参加費未定(約 5 千円) 申込開始 8 月 1 日・締切 8 月 10 日の予定。



犬島港



製錬所跡



三分一博志設計「製錬所」



犬島みかげ(花崗岩)産出跡

2. 連載『舞鶴の風景 1』 「舟屋のある漁村集落・成生(なりう) - その1-」	副理事長 日向 進(会員 NO.59、京都工芸繊維大学名誉教授)
--	---

成生は、大浦半島の最先端東側に位置し若狭湾に面した集落で、道路はここで行き止まりになります。「田井と成生は鯉(ぶり)どころ」と『舞鶴音頭』にうたわれたように、かつて鯉魚が大いに盛んであった明治末から大正年間にかけて建てられた、二階建ての主屋や付属屋が緩やかな傾斜地に建ち、また海沿いには切妻造りの妻を正面に向けた舟屋や横に長い連棟軒式の舟屋が建ち並んで、密度の濃い集落景観

が生み出されています。かつて木造であった漁船は FRP（繊維強化プラスチック）製で大型になってきたことから舟屋に引き上げられることがなくなり、現在は車庫として使われているようです。傾斜地を造成したり舟屋の基礎として使われているのが「日引（ひびき）石」です。日引石は大浦半島東北部の日引地区（福井県高浜町）で産出される凝灰岩（凝灰質砂岩）です。



成生集落



成生漁港入江



舟屋



集落内路地



集落内石垣(日引石)



日引石といえば、先日発見がありました。馬場理事長と大森神社（彌加直〈みかげ〉神社）をたずねたときのこと、拝殿前におかれた一対の狛犬が目にとまりました。それが日引石製だったのです。同じ系統の石としては、福井市内で産出する笏谷（しゃくだに）石や島根県の宍道湖周辺で産出する来待（きまち）石がよく知られるところです。石としては柔らかく加工しやすいので、建材として使われる一方、仏像や灯籠などにも使われてきました。

この狛犬の台座には「明治廿三年（1890）六月」という年号と「日引/石工人 九左工門（阿像、拝殿に向かって左）、「（同）又左工門」（吽像、同右）」という2人の石工の名前が刻まれています。現在の成生の集落景観が生まれたのと同じ時期に、日引で活躍していた石工がいたことが確かめられたわけです。大森神社の境内には、この狛犬より古いと思われる日引石の製作品がおかれています。



彌加直神社(通称・大森神社) 拝殿、奥に本殿



大森神社 拝殿前の狛犬(日引石)



成生(鳴生)神社

さて、集落の後背部に鎮座する成生（鳴生）神社は応安7年（1374）に焼失し、永和5年（1379）に再建されたといわれています。室町時代初めのこととなります。また西徳寺（臨済宗東福寺派）は享永元年（1429）の開創と伝えられ、田井集落の八幡神社には「康永三申年（1344）五月七日 寄附氏子中」と記された木札があることから、中世（鎌倉時代から室町時代にかけて）には集落が形成されていたように思われます。

3. 連載『我が国の近代化土木遺産 1』～ドボクイサンの重箱の隅～ こいけりか（特別会員 NO.87、(公財)日本交通公社勤務

栄えある赤煉瓦倶楽部舞鶴の会報に記事を書かせていただくにあたり、「さて、ナニを書こうか？」と考えていたが、同会の会報 87 号の編集後記にある「原点に立ち返り、市内に現存した市民に広く知られていない赤煉瓦施設に光を当てる活動を行う」という一文が目に入った。心に刺さる一文でもあった。自分が、仕事以外で古い土木構造物を見る時に、その構造物の歴史背景や建設の逸話等の情報を抜きに、どんなところに目がいって、何を見て感じ入っているのか、という本能的な部分が気になっていた矢先でもあった。

ここでは、昔の建築物に比べて、改めて気にして見る機会も多くはないであろう近代の土木構造物について、自分が古い土木構造物を撮影した時、何に惹かれ何を記録したかったのかを思い出しながら記していきたいと思います。

古い土木構造物を子細に見ていくと、素人目にも現代のそれよりも美しいと感じることが多い。舞鶴でも、海軍によって建設された水源地や堰堤、港湾施設など色々なものを見せて頂いたが、その何れもが美しいと感じるものだった。建設から 120 年近く昔の構造物は、今でも使われているもの、そうでないもの様々で、山中にひっそり佇む苔むした様子や、街なかを少し離れた沿岸部に取り残されたように残る姿にも美しさを感じさせるものは、何なのか？と考えてしまう。いくつかの理由はあると思うが、そのうちの 1 つは、今の日本の土木構造物ではあまり見かけない「曲線・曲面」ではないだろうか？

例えば、舞鶴の港の岸壁を形作る石積みの護岸にも、美しい曲線・曲面を見つけることができる。明治工業史 土木編に明治30年3月に納入と記されている舞鶴軍港築造では、埋め立てて新たに造成された陸地に石積み護岸の築造が行われた。舞鶴の明治期の石積み護岸に見られる曲線・曲面はどのようなものだろうか？



画像①



画像②



画像③

①の画像は、石積み護岸の勾配が素敵な曲線を描いている。護岸高が低いので、護岸の底部と上部の勾配が異なることが分かりづらいが、この曲線で護岸高がもっと高ければ、底部の勾配よりも上部の勾配がより立ち上がったものになっていたのではないだろうか。そんな勾配は、城壁の石垣等に通じるものがあるように感じられる。護岸壁面の谷積みも、目地が斜め一直線に通っておらず、石同士がうまくかみ合う形になっている。

②は、護岸上部の天端部分の曲線の様子だが、笠石が緩やかな曲線を描いて並んでおり、平面図として見たときにも、隅角部の曲線で構成されていることが分かる。

③は、天端の笠石の詳細だが、ここでも笠石の海側の側面が緩やかな局面で処理され、それらが連続した曲面となって全体的に柔らかな印象を受ける。笠石の上から石積み護岸を覗きこむと右の画像のように見える。因みに、石積み護岸等の天端に笠石を用いる場合、笠石の厚みが薄すぎると、石積みの風格が損なわれてしまい貧相なものになってしまうようだ。舞鶴市史にも「石材の組み合わせ部分は、入念に縁取りをして組み合わせた。(中略明治30年代の石工作業の精巧さが面影をとどめている。)」とある。他地域の石積み護岸はどうなっているのだろうか？石積み護岸の曲線・曲面を考える時、明治時代に築造されたものでは、横浜にある汽船道(臨港線跡)の足元とその対岸の石積み護岸が印象深かった。



画像④



画像⑤

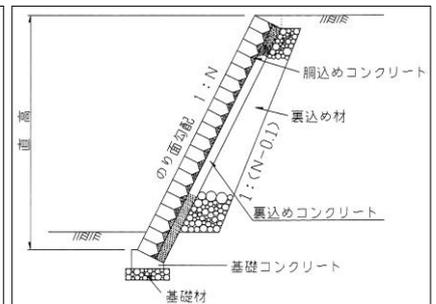
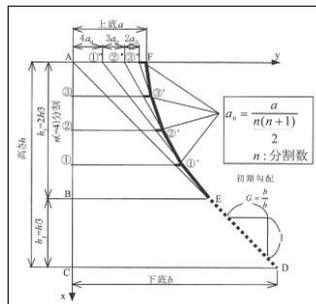
画像④～⑤はそれらを撮影したものだ。④は、谷積みの護岸の緩傾斜と護岸が形作る曲線、⑤は、布積みの護岸隅角部の曲がり具合が気になる。④は、非常に緩やかな勾配が石積み(勾配の傾斜が45度以下かも知れないので石張りであろうか)護岸の視覚的な安定性を感じさせる、緩やかな曲線が優美さを醸し出しているように感じられないだろうか。

⑤は、④に比べて切り立った勾配の石積み護岸であるが、隅角部の曲線・曲面と護岸勾配の傾斜角度のバランスが良いものの、護岸頂部を詳細に見ると、天端が直線的に切り取られてしまったような改修痕が見られ、石積み護岸全体の風格が損なわれしまった感がある。上部を駐車場へ転用するタイミングで改変されたのであろうか？

石積み護岸の設計基準を比較すると、今日のものとの違いが見てとれる。右図の左側は、「歴史的土木建造物の保全(土木学会2010年)」の石垣の設計手法の参考図、右側が現在一般的に使われているブロック積みや石積み擁壁の設計基準(岐阜県の資料より)である。

曲線や曲面の有無以前に、石積みの勾配に対する考え方が大きく異なっていることが分かる。昔の石積み護岸は、根入れから上の勾配が、護岸高をいくつか等分割し、それぞれ異なる曲線の勾配としている。設計にも施工にも手間がかかるが丁寧さを感じられる。現在のものは、1:Nの一直線の勾配であり、設計や数量計算は、昔のものに比べて楽そうではある。施工や需要者へ向けた設計基準なのか、設計者へ向けた設計基準なのか、あるいは、それ以外の理由なのか。建設された時代の社会情勢や経済状況が異なっていることは承知の上なのだが。

ほんやりと、ではあるが、明治期の石積みを見て、美しいと感じたり、心が動いたりする理由は、単に作れば良いということだけではなく、作ったものがどう見えて、その見え方で重要とされたものが「風格」であったからなのかも知れない。「風格」は、今の日本の土木建造物では、無用となってしまったものなのだろうか？そんなことを考えながら、いくつかの古い土木建造物をみていきたい。



4. メグ・ヴァイヴァース女史の来日について

理事 小野 章(No.9 赤れんが博物館勤務)

この3月初めから赤れんが博物館において「謎の英国人ウォートルスの足跡をたどる」と題する小企画展を開催しています。当館内では、銀座煉瓦街やホフマン窯の展示の部分など6か所ほどでウォートルス関係の展示を行っており、今回はそれらを総覧する形の展示を行った次第です。

トーマス・ウォートルスはアイルランド生まれの「英国人」で、幕末に英国人貿易商トーマス・グラバーの仲立ちで薩摩藩に雇われ、奄美大島に白砂糖工場を建設する事業に関わり、維新後は新政府の大蔵省人脈をつとに大阪造幣寮などの建設に、その後東京に移っては竹橋陣営や銀座煉瓦街の建設に携わった人物です。

私は、今回の展示の準備の中でオーストラリア人のヴァイヴァース女史の著作「An Irish Engineer」に出会い購入したのが契機で、女史とメールの交換を行いました。この本は、T.ウォートルスやその兄弟の日本やアメリカでの活動、また技術系の人材を生み出した家族史などについて詳細に記述しており、これまでベールに包まれていた部分が多かったウォートルスの全体像がつかめる画期的な本です。

さて、さる4月2日から12日までヴァイヴァース女史が来日し、まず大阪造幣博物館での講演をした後に東京に立ち寄りたいたいと連絡があり、その日程の一部におつきあいをすることになりました。

東京では、7日に旧新高停車場など明治初期に建設された施設跡のほか、8日には皇居周辺の英国公使館（現大使館）・大蔵省辰ノ口分析所・竹橋陣営兵舎・陸軍教導団・皇居山里鉄製吊橋などウォートルス関連の建物の跡地を視察し、最後に銀座（煉瓦街）は彼の代表作であるゆえ、5丁目交差点を発して南端にある「金春通り銀座煉瓦遺構の碑」まで見て回りました。

昼食は、藤森照信先生に声をかけていただいたウォートルス研究者の皆さんと合流し、「ライオン」（銀座7丁目ビル）で頂戴しました。藤森先生は、ご存知のように、我が国の近代建築研究の第一人者であり、銀座煉瓦街やT・ウォートルスについても多くの研究成果を発表されています。この場合は、ウォートルスという「共通言語」をもつ皆さんが熱心に情報交換を行う一種独特の雰囲気となりました。

女史は、翌日横兵を視察、ウォートルスと深い関係を持つ旧ジャーディン・マセソン商会跡地などを視察しました。その後11日間に亘る訪日日程を終えて12日成田から帰国の途に就きました。

このたび、貴重な時間を割いて女史との会食の席を設けていただいた藤森先生、関連各所を案内いただいた丸山先生と井上先生、準備段階でお世話になった堀先生、そして赤煉瓦ネットワーク・赤煉瓦倶楽部・舞鶴の各位に対し、心からのお礼を申し上げます。

願わくは、早い機会に本書の日本語版が出版されることを。

参考：Dr. Meg Vivers 著 “An Irish Engineer” (CopyRight Publishing,Brisbane)



中央に藤森先生とメグ女史、左端筆者

5. その他

平成26年度通常総会開催について

事務局

- 1 平成26年度通常総会開催 6月1日(日)午後2時より浜事務所に開催します。総会への出欠について、同封のハガキを5/29必着にて必ずお送りください。平成25年度事業・会計決算承認と、26年度事業・会計予算計画について審議します。
- 2 編集後記 早いもので、咲き誇っていた桜も葉桜に変わっています。ゴールデンウィーク期間中皆様それぞれにお過ごしのことと存じます。さて、私は以前から一大関心事の報道等をファイリングするのが趣味です。今の関心事は、STAP細胞です。これまでの当事者の発言報道では、論文の不備に対する責任のなすり合いに終始していますが、STAP細胞が実際に存在するの否か、真実が知りたいです。そうした成り行きが今後楽しみです。(b)

会 員 資 格： 会費納入者(特別会員は除く)。入会金1,000円、年会費(個人2,000円、法人10,000円)。

なお、会員申込用紙は、ホームページからダウンロードできます。ご寄附も受け付けます。

会費・寄付金等 振込先： ゆうちょ銀行 口座番号 (01010-6-21476) 加入者名： 赤煉瓦倶楽部・舞鶴